

Rコードを読み込むと、故人の思い出と喪主からの感謝をまとめた映像が流れ出す。大型連休明けから映像配信サービス「QRシアター」を開始した。故人をしのぶ写真や喪主からのメッセージなどを4分間ほど動画にまとめ、交流のあつた人に送ることができる。会葬礼状にQRコードを添えたり、電子メールや会員制交流サイト(SNS)を通じて送信したりすることもできる。

新型コロナウイルスは、人々の交流の形を変えた。葬儀やお見合いでなどの「場」を提供してきた業種は、距離が縮んだ。これまで隔ても心が通い合う新たな形を模索する。

新型コロナ感染拡大以降、同社の葬儀場には変化があった。滞在時間の短い参列者が増えたのだ。多くの人がいる空間にとどまることが警戒感が理由とみられる。新サービスについて、竹内一曾社長は「コロナ禍だか

⑤ 場の提供 画面通じ追悼、見合い

リアルな対面を補完

「仕方ない」と悔いの残る別れにしてもらいたくない。QRシアターの活用は、故人に関する人たちの気持ちを、より広く共有する助けになると考える。

一方で「思いが最も通じ合つのは顔を合わせた瞬間」とし、事業の主軸をリモートに転換する予定はない。新

サービスは、対面での葬儀の補完的位置付け

結婚相談所のハートステーション幸和(同市東町)は、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を使ったお見合いを今春から導入した。出会いたい気持ちが最大の原動力となる「婚活」において、コロナ禍でも出会いの機会を提供できるよう工夫を凝らす。

同社は10年ほど前にもインターネット電話「スカイプ」でリモートの出会いの場をつくろうと模索したもの

にオンライン利用のルールを作るなど環境を整備。そこに今回のコロナ禍でリモートワークやビデオ会議が世間に一気に浸透し、「リモートお見合い」に追い風が吹いた。

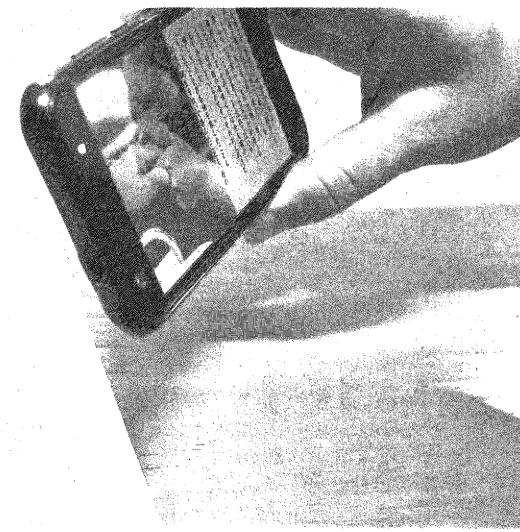
同所の桜井清人代表は「実際に会うよりもお見合いのハードルが低くなる」と和音を説明する。ただ「リアルでの対面とは印象が異なる」と話し、出会いの手段の一つとして、活用を促すつもりだ。

コロナ収束後も、人混み回避の習慣は変わらないかもしれない。リモートとリアル、双方の強みと弱点を見極めた取り組みが始ま

だ。
出会いの機会

一方で「思いが最も通じ合つのは顔を合わせた瞬間」とし、事業の主軸をリモートに転換する予定はない。新

サービスは、対面での葬儀の補完的位置付け



葬儀場に変化

葬祭事業を手掛けるプリエッセ(高崎市本

プリエッセの新サービス「QRシアター」のイメージ

の個人情報保護などの課題を解決できず頓挫した経緯があった。その後、同業者と一緒にオンライン利用のルールを作るなど環境を整備。そこに今回のコロナ禍でリモートワークやビデオ会議が世間に一気に浸透し、「リモートお見合い」に追い風が吹いた。

(おわり)